

社会参加推進センター会報

◆発行・編集
〒732-0822

広島市障害者社会参加推進センター
広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま5階
広島市身体障害者福祉団体連合会内
(TEL 082-263-4524・FAX 082-263-9713)
E-MAIL info@hiroshima-shishinren.or.jp
ホームページ http://shishinren.com/

新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスに感染すると平均して5日から6日、最長で2週間ほどの潜伏期間を経て症状が現れます。

初期の症状としては、いわゆる「かぜ」と同じようなものが多く、WHO（世界保健機関）は、最も多い症状として発熱や乾いたせき、体のだるさを挙げ、患者によっては鼻づまりやのどの痛み、それに下痢なども起きるとしています。

また、アメリカのCDC（疾病対策センター）は、症状について、これまで発熱とせき、息苦しさを挙げていましたが、4月に入って症状についての情報を更新しました。

せきと息苦しさについては変わりませんが、次の症状のうち、2つ以上の症状があると感染している可能性があるとしています。

- ・発熱・寒気・悪寒・筋肉痛・頭痛・のどの痛み
- ・味覚または嗅覚の異常

ほかにも重い症状など気になることがあれば医療従事者に相談し、息ができなくなったり、胸の痛みが続いたり、顔や唇が青ざめたりした場合などは、深刻なサインだとしてすぐに医療機関を受診するよう呼びかけています。

コロナウイルスのPCR検査について厚生労働省は5月8日、新たな相談の目安を公表し、2月以降「37度5分以上の発熱が4日以上」としていた表記を取りやめました。具体的な体温は示さず、息苦しさや高熱などの症状があればすぐに相談するよう呼びかけています。

【次のような症状は「すぐに相談」を】

- ・息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状がある場合
- ・高齢者など重症化しやすい人で発熱やせきなど比較的軽いかぜの症状がある場合
- ・重症化しやすい人でなくても、発熱やせきなど比較的軽いかぜの症状が続く場合

厚生労働省は、『高熱』かどうかは自分の平熱を踏まえた上で判断してほしい。症状には個人差があり、強い症状だと思えばすぐに相談してほしい。としています。一方、症状の1つとして報告が相次いでいる「味覚や嗅覚の異常」については専門家の間で意見が分かれたため記載は見送られましたが、厚生労働省は異常を感じた場合には相談するよう呼びかけています。

【症状が4日以上続く場合は「必ず相談」を】

- ・発熱やせきなど比較的軽いかぜの症状が4日以上続く場合

厚生労働省は、感染の疑いがある場合には、まずは保健所の「帰国者・接触者相談センター」などに相談してほしいとしています。

新型コロナウイルスの特徴

- ・ウイルス性の風邪の一種
- ・発熱やのどの痛み、せきが1週間前後続くことが多い
- ・強いだるさを訴える人が多い
- ・くしゃみやせきなどによる飛まつ感染と接触感染によってうつると言われている
- ・高齢者や基礎疾患のある人は特に重症化しやすく、死亡例も確認されているので注意が必要

日常生活で気をつけること

- ・石けんやアルコール消毒液などを使った手洗い
- ・せきやくしゃみをする際のエチケットを守ること
- ・持病がある人や高齢者はできるかぎり人混みを避けること
- ・発熱などかぜの症状が見られる時は学校や会社を休むこと

特別定額給付金のお知らせ

1 給付対象者

基準日（令和2年4月27日）において、住民基本台帳に記録されていると認められる方

2 受給権者（給付金を受け取る方）

給付対象者の属する世帯主の方

例：3人世帯の場合、世帯主が申請し、3人分の給付金を受け取ります。

3 給付額

給付対象者1人につき10万円

4 申請方法、申請時期及び給付開始日

感染拡大防止の観点から、郵送またはオンラインによる申請にご理解とご協力をお願いいたします。

(1) 郵送申請方式

申請書は5月29日から順次発送いたします。

※郵便が集中しているため、配達に時間を要する場合があります。

申請書に給付金受取口座等の必要事項を記入し、給付金受取口座の確認書類（金融機関名、口座番号、口座の名義人が分かる通帳やキャッシュカードのコピー、インターネットバンキングの画面のコピー（スクリーンショット等を印刷したもの））と本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード（顔写真付きのカード）、健康保険証等のコピー）を同封し、返信用封筒で広島市に郵送していただく方法です。

申請書の記載や添付書類に不備がないものについては、6月12日（予定）から給付を順次行います。

(2) オンライン申請方式

マイナンバーカードをお持ちの方が利用可能です。（5月13日から申請受付開始。）

マイナポータル（マイナンバーに関する情報の閲覧や電子申請を行えるポータルサイト）から給付金受取口座を入力し、給付金受取口座の確認書類をアップロードし、電子申請（電子署名により本人確認を実施するため、本人確認書類は不要です。）していただく方法です。

5月22日から給付を順次行います。

【申請期限】

申請期限は、郵送申請方式・オンライン申請方式ともに令和2年8月28日（郵送申請方式は当日消印有効、オンライン申請方式は当日24:00まで）です。

5 給付方法

原則として、申請者（世帯主）の本人名義の銀行口座への振り込みにより行います。

特別定額給付金に関するお問い合わせ

広島市特別定額給付金コールセンター

0120 - 082417（フリーダイヤル）

応対時間 8時30分～17時15分

（土、日、祝日を除く。）

ふれあいボウリング大会を開催

2月16日（日）第20回広島市障害者ふれあい交流会を広電ボウルで開催しました。

広島市身体障害者福祉団体連合会、広島市手をつなぐ育成会、広島市中心身障害児者父母の会、広島市保健福祉家族会など各団体にご協力いただき、障害者の社会参加の促進と交流を目的に行われました。

身体、知的、精神の3障害等72名が集い、広島市身体障害者福祉団体連合会の向井会長の開会挨拶に続き、各団体の代表者による始球式が行われました。

ボウリングは2ゲーム行い、各レーンで熱戦が繰り広げられ、あちこちで歓声が上がっていました。

第15回マーガレットコンサート 障害者と広響とのジョイントコンサート

令和2年2月23日に広島国際会議場フェニックスホールにおいて「第15回マーガレットコンサート」が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、スタッフ及び関係者はマスクを着用しての開催となりました。会場受付は、日本ダウン症協会広島支部「えんぜるふいっしゅ」ほかの皆さんにお客様をお迎えしていただきました。

コンサートは2部構成で、第1部の広島交響楽団の演奏では、広島市佐伯区出身の林直之氏の指揮によるグリムカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」、モーツァルト：交響曲第39番変ホ長調 K.543、エルガー：エニグマ変奏曲Op.36、ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調「運命」Op.67の演奏があり、心にしみわたる勇壮な演奏に聞き入りました。

第2部では、松井一貫広島市長の挨拶に続いて、和太鼓による太鼓囃子「粋」が単独演奏されました。つぎに、「みんなでひとつに」と題して、広響と合唱と手話コーラスのジョイント曲（変わらないもの、いのちの歌、翼をください）が披露され、最後の和太鼓と広響のジョイントによる「ダンス！ダンス！ダンス！～踊りの音楽紀行」では、まるで踊りながら世界を旅しているような気分させてくれる躍動感あふれる演奏に対して、会場から鳴りやまぬ拍手が贈られ、演奏者と観客が一体となっているように感じることができました。